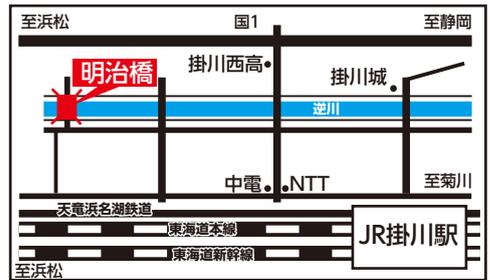


## 明治・大正・昭和期の建設工事写真シリーズ (写真提供・施工/株式会社金田組)

### 明治橋渡始式 (掛川市城西) 昭和2年5月13日



現在の明治橋  
(平成26年6月撮影)



### つちおとの表紙を飾る写真

◆テーマ・題材◆静岡県内の明治・大正・昭和期の建設工事関連写真

住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、写真の簡単な説明を記入したメモを必ず添えて、表紙裏面に記載の住所あてに郵送、あるいは協会までご持参ください。写真はつちおと掲載後に返却いたします。

ご応募いただく際お預かりする個人情報、掲載させていただいた方への図書カードの送付のために利用させていただきます。

## 大募集!

掲載の方には  
2,000円分の  
図書カード  
進呈!





村松藤雄 森町長

南海トラフ巨大地震が想定される中、防災・減災対策を積極的に進める村松森町長と災害時には地域の為に総動員で働くと言語る会長就任早々の岡野協会長との対談を、5月19日(月)に実施しました。

対談

村松 森町長  
岡野 袋井建設業協会長

岡野良隆 袋井建設業協会長



建設産業の実状について

初めに、建設業の実状について会長からお話して頂きます。

【会長】 まず、建設投資についてですが、官民合わせピーク時の半分ほどになってしまいました。就業者数も685万人をピークに、現在は約500万人に減少しています。現在は、少し仕事が増加してはいますが、各社とも余剰人員を減らしてきています。特に若者は建設業に従事することを選ばなくなっています。若者に建設業に入ってもらい、技術力を向上しながら、伝承・継承していかなければ、建設業は衰退してしまいます。また、仕事量が少ないため、ダンピングも問題になっています。一方、世間の捉え方は、公共工事は悪いといったイメージが植えつけられてしまっています。地元の方々にも建設業についての理解を深めて頂き、社会・地域・業界の為、PRをしながら進んでいかなければならないと考えています。

現状をお話頂きましたが、次に町長のお考えになる地元建設業についてお聞かせ下さい。

【町長】 マクロで見ると、国・県の投資的経費は半減しています。ただ、森町の公共事業費はそれほど減っていません。森町は、公共事業費の削減が始まった平成15年前後に、公共下水道事業をスタートさせました。事業開始から10年経って、公共下水道の割合が工事全体の半分、請負金額ベースでは、1/3を占めるようになってきているのではないのでしょうか。その他の事業としては、町長に就任してすぐ、小・中

署に統合され、跡地に規模を縮小した森分庁舎が建設されました。残地を県から買い受け、そこに、拠点防災倉庫と仕分け所を建築したいと思いを進めています。新東名の遠州森町PAと森掛川ICの丁度中間くらいにあり、スムーズに物資の搬入・搬出ができると思います。民間のノウハウを入れた、大型倉庫という発想で27年度くらいに整備を進めたいと思います。

【会長】 災害時に沢山のものを買った買ったとしても搬出・搬入できなければ意味ありません。その拠点を作って頂ければありがたいですね。協会では国・県・市町と防災協定を結んでいます。災害時、道路の啓開に当たるようになっています。また、主要幹線道路を使用できるように準備をしています。ソフト面では、通信方法をどのように確保するかも問題となつてきます。町の通信に関する取り組みはいかがでしょうか。

【町長】 消防無線については、中東遠でデジタル化を進めています。町としては拠点公民館に行政無線を設置してあり、こちらもデジタル化を進めています。本年度電波調査、実施設計を考えています。また、森町は、同報無線が各家庭に入っています。そのため、国からの指示も各家庭に自動的に流れるようになっていきます。情報伝達の機能は恐らく近隣自治体の中では森町が一番進んでいると思います。

【会長】 防災に関しては、自治体と連絡を取りながら万全な体制をとっていきたいと思っています。また、袋井建設業協会は、家畜伝染病、鳥インフルエンザに対応する協定も県下10協会の中で最も早く静岡県と締結しました。家畜伝染病への対応はいかがでしょうか。

学校の体育館の建て替えと耐震化に取り組まれました。そのため、東日本大震災が起る前には、ほとんどの学校施設の耐震が完了していました。また、耐震化の対象外になっていた各学校のランチルームも少し危険なところがあったため、今年耐震化を実施します。唯一残った総合体育館の建て替えが完成すると町の公共施設の耐震化は全て完了します。

防災・減災について

森町ではどのような将来的なインフラの整備を計画しておられるのでしょうか。

【町長】 やはり、防災・減災対策です。国がメンテナンス元年と位置づけ、橋長15メートル以上の橋梁については、5年に1回定期的な点検を実施することになりました。修繕すべき健全予防保全段階などと分類して、工事が必要なものはプログラムを作った上で、必要なものは対象となるようにしました。これは、公共団体が保有する公共物をきちっとメンテナンスしなさいということだと思います。今までは、新設や改良などに重点を置いていたため、維持・修繕になかなかお金が掛けにくかったのですが、ほっておけない状況になってきました。これから、協会の皆さんに技術を磨いて頂き、協力して頂きたいと思っています。また、地震対策では、大きな地震が30年以内に発生する確率が高くなっています。森町は津波の心配はありませんが、山を抱えているため、急傾斜地があります。町民を一度に全員避難させること



とはできないので、本当に危険な所に住む人達をどのように避難させるかがポイントになってくるのではないかと思います。本当に危険な所の判断を協会の皆さんのお知恵を借りながら、作り上げていくことが必要だと思います。森町のインフラ整備は、スマートIC、新東名のICができて人が交流できる土壌が整いました。また、学校施設などの耐震化も完了しました。これからは、道路にもウェイトを置きながら整備をしていくことも考えています。東名の袋井ICと新東名森掛川ICを直接結ぶアクセス道をいかに早く整備するかが喫緊の課題です。

維持修繕の面では、既存の施設をいかに長く使うかを考え、点検を行って、早いうちに安く長寿命化を実施していくことが社会の流れになってきています。維持や長寿命化に関しては、これほど本格的に対応してきたことはなかったため、協会の皆さんに提案して頂きながら対応していくことが必要だと思います。

防災面では、町としては、拠点となる防災倉庫を整備していかなければならないと思っています。そのためには、全国各地から物資が届いた時に、スムーズに搬入・搬出できる整備が求められるのではないかと考えています。旧森警察署が袋井警察

最後に一言お願いします。

【町長】 東日本大震災の復興では発注される工事の半分くらいが入札不調になっています。資材も値上り、労務者もいない中、災害住宅を作るのに人が足りない状況のようです。これから数年はオリンピックや震災からの復興などです。ますます人が足りない状況となつてくると思います。

【会長】 建設業界には今までアゲインストの風が吹いてきましたが、今はフォロワーの風となつています。そのような中でも気を引き締めてよい仕事を適正価格でお願いします。【会長】 建設業界は、地域に対して力を発揮できればと思っています。社会・地域・業界の為に今後も活動していきたいと思っています。若い人がこの業界に入ってくることが将来的に繋がっていくことになると思います。ものづくりの面白さや魅力を出して、若い人に入ってもらえるようにしていきたいと思っています。今後ともご指導よろしくお願いします。

本日はありがとうございました。



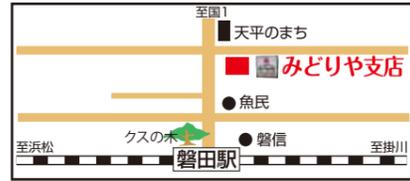
●司会は、川島達也袋井建設業協会副会長(左から2番目)  
●西島正浩協会広報委員長(左端)

「暑い冬に満足そうにあづま焼をかき氷を食べる子供たちや、暑い夏にかき氷を一口、口に入れたとたん



夏はかき氷！冬はあづま焼！

あづま焼 みどりや支店



**あづま焼 みどりや支店**  
 〒438-0078 磐田市中泉551-4  
 電話0538-32-2837・FAX0538-32-2837  
 営業時間 10:30～20:00  
 定休日 火曜日  
 駐車場 6台(無料)  
 席数 テーブル席30名  
 テイクアウト 一部できないものもあり  
 お子様連れ 可



先代から使っている氷かき機



あづま焼 あんこ・クリーム  
ひとつ100円(税込)



アットホームで居心地がとてもいい。

かき氷メニュー	
カンロ・イチゴ・レモン・メロン	¥300
ミルク(イチゴ・レモン・メロン)	¥350
チョコレート・コーヒー	¥350
金時(イチゴ・レモン・メロン)	¥380
ミルク(宇治・コーヒー・チョコ)	¥400
フルーツ	¥450
フルーツ宇治ミルク金時	¥600

※その他多数あります。

「アーンうまい」といって、すっと汗がひいていくお客様の顔を見るのを何よりの生きがいとし、未永く愛される店を目標としております。と、事。夏間はおいしいちゃんとお孫さんが、夕方は仕事帰りのサラリーマンが、OLが食べに来ています。※あづま焼の生地が、クリームとあんこで違います。あんこもあづま焼とかき氷の金時、おしるこで作る方が違い、絶妙です。

街の おすすめ ショップ

ステーション 建設STATION



菊川市内初の幼・保統合「おおぞら幼保園」が完成



【施設説明】

今年4月1日に開園した「おおぞら幼保園」は老朽化した加茂幼稚園(同市加茂)と内田保育園(同市内田)を統合し、それぞれの持つ機能と専門性を生かし、一人ひとりの確かな成長と発達を促し、質の高い乳幼児保育・教育を提供する施設を整備したものです。場所は南部農村公園に建設し敷地は約10,000m<sup>2</sup>で園舎は鉄骨平屋約2,500m<sup>2</sup>です。

新たな園舎は幼稚部保育室6部屋、保育部保育室6部屋のほか遊戯室や相談室、調理室、病後児保育室を備えています。

県内産木材使用「明るく温かみのある空間に」

保育室は全て南向きに配置し、所々に県内産の木材を使用し自然光を取り入れ開放的で温かみのある空間としました。内装も木材を使いシンプルなレイアウトが特徴です。園庭は2,100m<sup>2</sup>で遊具を備えています。

定員は幼稚園児、保育園児とも120人で、事業費は約8億4,200万円です。

太田順一市長は「広い敷地の中で子どもたちが伸び伸びと活動し市の幼保施設のモデルとしたい。」と話しています。

明るく開放的な園舎



【工事名】	平成25年度幼保施設整備事業 菊川市公立幼保園建築工事
【建設場所】	菊川市内下内田832番地
【敷地面積】	9,907.88m <sup>2</sup>
【建築面積】	2,586.28m <sup>2</sup>
【延床面積】	2,457.32m <sup>2</sup>
【構造】	鉄骨造平屋建
【施工】	若杉・落合特定建設工事共同企業体
【発注者】	菊川市

工事内容

横須賀城址



横須賀城の天守は建て坪40坪余。ここからは礎石と礎石を抜き取った穴がおおよそ2mの間隔で基盤目状に27箇所検出され天守跡と考えられる。

国史跡 横須賀城跡



城は、海岸沿いの丘陵上にあり、本丸を中心に東から三の丸・北の丸・西の丸・二の丸を配置。絵図から三重4階の天守があったと考えられている。

第二回目は、掛川市西大淵にある横須賀城を紹介します。

徳川家康の跡

中世城郭の遺跡を訪ねる



徳川家康は、天正六年から八年(一五七八〜一五八〇年)にかけて、約六キロメートル東の高天神城(第一回目に紹介)を武田軍より奪還するための軍事拠点として、横須賀城を築かせました。天正九年(一五八一年)高天神城は落城と共に廃城となり、この横須賀城が遠州南部の拠点として位置づけられました。以後、明治維新で廃城となるまで二八八年間で二十代の城主を数えました。

横須賀城の特徴は、中世城郭と近世城郭の二つの構造を持っている平山城です。普通ひとつしかない大手門が、東西にあり「両頭の城」といわれました。またこの城の石垣には、普通の城ではちよつと見られない丸い石が用いられています。この石は、天竜川から集められた河原石で「玉石積み」と呼ばれています。



協会活動報告

平成26年3月～6月

総会

5/16(金) 平成26年度 定時総会

- 平成25年度決算関係書類の承認
- 平成26年度事業計画及び予算書の承認
- 準消費貸借契約の内容変更
- 役員の変更
- 報告事項(26年度事業報告等、会員の退会)



定時総会で新正副会長を選任



鈴木会長退任挨拶

理事会

3/3(月) 平成25年度 第7回理事会

- 静岡県建設連合会長表彰候補者の推薦
- 県協会理事会等の結果報告
- 静岡建設連合会の結果報告
- 平成26年度協会役員及び委員の選任案報告
- 会員の退会報告
- 公共工事必要箇所の提案に係る掛川市の対応状況報告
- 平成26年度静岡県優秀施工者知事褒賞候補者の推薦依頼
- 活動実績及び今後の予定の報告

3/27(木) 平成25年度 第8回理事会

- 平成26年度事業計画書の承認
- 平成26年度収支予算書の承認
- 準消費貸借契約の内容変更の承認
- 平成25年度支出予算流用調書の承認
- 就業規則、旅費規程、育児介護休業規程、給与規程及び退職金規程の改定案の承認
- 会計処理規程の改正案の承認

その他の行事

4/18(金)～19(土)

役員研修(三遠南信自動車道佐久間道路浦川地区第一トンネル新設工事現場ほか)



5/31(土)～6/1(日)

会員研修(久能山東照宮ほか)



研修参加者

5/23(金) 静岡県建設業協会定時総会・協会長賞等表彰式



●平成26年度静岡県優秀施工者知事褒賞候補者の推薦

●県協会臨時総会の結果報告

●静岡県理事会の結果報告

●平成25年度の活動報告

●災害時事業継続計画(BCP)の策定に係る研修会の開催報告

●当面の行事予定報告

4/25(金) 平成26年度 第1回理事会

- 平成25年度事業報告及び事業報告の附属明細書の承認
- 平成25年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書の承認について
- 平成26年度定時総会の開催
- 平成25年度監査報告
- 会員研修の応募状況報告

監事会

4/23(水) 平成25年度 決算関係監査

袋井建設業協会、袋井地区建設事業協同組合 防災防袋井分会、NPO(つちおと)

委員会等報告

正副会長会議

3/3(月) 第7回理事会上程議案

3/27(木) 第8回理事会上程議案

4/4(金) 県発注機関及び磐田労働者との意見交換

4/25(金) 平成26年度第1回理事会上程議案

5/28(水) 県発注機関及び磐田労働者との意見交換

今後の協会運営の検討

6/9(月) 今後の協会運営の検討

労働委員会

5/2(金) 第1回インターンシップ打合せ

5/26(月) 第2回インターンシップ打合せ

(磐田農高、事務局)

(磐田農高、委員長、事務局)

表彰

全国建設業協会会長賞及び静岡県建設業協会会長賞表彰

平成26年5月23日、静岡労政会館において表彰式が挙行され、次の会社・個人が受賞されました。(敬称略)

◎全国建設業協会会長賞表彰者

2条3号 戸塚成男

(株)山本組 (掛川市)

永年にわたり建設業団体役員として、建設業の健全な発展に尽力

2条4号 倉見正一

倉見建設(株) (森町)

多年にわたり役員等の要職にあり、建設業の健全な発展に尽力

4条1号 金原建設(株) (掛川市)

(株)藤本組 (掛川市)

経営の合理化、技術の向上に顕著な成果

4条2号 (株)堀内土木 (磐田市)

環境に配慮した建設事業を推進し、顕著な成果

4条4号 大沼建設(株) (森町)

労務・福利厚生等の改善に顕著な功績

5条

大石隆夫 (株)若杉組 (掛川市)

塚本茂利 (株)若杉組 (掛川市)

増田 充 (株)藤本組 (掛川市)

職務に精励し、勤務成績が良好

安全委員会

4/4(金) 安全祈願祭小國神社61名参加



安全祈願祭参加者

4/4(金) 第1回委員会

(25年度活動報告、26年度活動計画) 講師団打合せ

5/8(木) 講師団打合せ

(26年度技能講習会)

6/19(木) 第2回委員会

(安全大会、安全研修会、安全パトロール、表彰)

6/27(金) 第28回袋井地区建設業安全大会

広報委員会

3/18(火) 会報第130号の校正

4/1(火) 会報第130号の発行

4/22(火) 会報第131号の編集計画

5/16(金) 森町長と岡野会長との対談打合せ

5/19(月) 森町長と岡野会長との対談

5/20(火) 会報第131号の編集会議

6/17(火) 会報第131号の編集会議

4/17(木) 第1回部会

(平成26年度事業計画、CIムについて) 第1回T講習会

(土木部会の技術者講習会と共催)



第1回T講習会 第1回技術者講習会

5/19(月) 第2回部会

(第2回T講習会の開催、当面の課題)

6/23(月) 第2回T講習会

(初めての3DCADその1)

第3回部会

(第3回T講習会の開催)

環境・災害対策委員会 NPO部会

5/29(木) 第1回部会

(事業計画、公共工事必要箇所調査の実施協議)

各種研修会・講習会

4/9(水) 監理技術者TV講習会

4/17(木) 第1回技術者講習会

(第1回T講習会と共催)

4/24(木) 刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育

5/15(木) 作業員のための熱中症予防教育

5/16(金) 経営者研修会

「大増税時代に備える相続セミナー」

「賢い事業継承対策の進め方」

6/4(水) 5木 型枠支保工の組立て等

6/10(火) 12木 地山の掘削及び土止め支保工

6/17(火) 18水 足場の組立て等作業主任者

6/19(木) 技能講習

6/23(月) 安全研修会

第2回T講習会

「初めての3DCADその1」



望月税理士による相続セミナー



刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育



地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習



安全研修会

ブレイクタイム

「セミが日本を救う」

2013年5月、国連食糧農業機関(FAO)は昆虫食を推奨する報告書を発表した。

唐突に思われるかもしれないが、今も耳に聞こえる「ミンミン」と鳴くセミが何かの役に立たないかと思っただからだ。

あまりなじみのない虫を食べるといふ行為だが、食べる虫として皆さんがすでに思いつくものは「アナゴ」の佃煮ではないだろうか?それ以外にも郷土料理として昔から虫を食していた地域もある。長野県の「蜂の子」は珍味として名高い。「ガザ虫」の佃煮のようなものもある。昆虫は特に山間部で貴重なタンパク源として食べられてきた。

ものの本によると、世界中でセミは食されているらしい。日本国内でも沖縄県や和歌山県の一部では食べる習慣があるようだ。長野県の園芸試験場では、アブラゼミの幼虫を使った缶詰を試作したこともあるという。

米国の思想家で環境活動家のレスター・ブラウンは40年前から、中国の人口増加を筆頭に、世界的な人口爆発、食糧危機に警鐘を鳴らしてきた。経済発展が著しい発展途上の食糧を、どのように賄うのかは世界的課題だ。食糧自給率の低い日本では、食料安全保障からも、自給率の向上は必要不可欠だ。

そこで、昆虫食。セミの出番だ。一日一食はセミのから揚げやセミの幼虫のポタージュ。残念ながら、食べたことはないしあまり想像したくない。しかし、皆さんの家の庭や近くの公園で鳴いているセミ達が、実は近い将来、食卓に上がっているかもしれない。セミが日本を救う?

(N・M)



# 安全の道しるべ



**第28回袋井地区建設業安全大会** 6月27日(金)午後1時30分～3時30分に開催され、125名が参加しました。



「会長あいさつ」



優良事業場、安全標語入選者が表彰されました。



「安全講話」労働災害防止について  
磐田労働基準監督署 安全衛生課長 山中康久様



「がんばろう三唱」  
安全の誓いを堀内安全委員長の音頭のもと、参加者全員が力強く唱和しました。

**平成26年度 安全研修会** 6月19日(木)午後1時30分～4時45分に開催され、110名が参加しました。



「工事の安全対策等について」  
講師 静岡県交通基盤部工事検査課 検査監 山村嘉男様



「建設現場における熱中症予防対策について」  
講師 大塚製薬(株)静岡支店 課長 古川 晶様



「建設現場の安全管理と安全巡視の着眼点」  
講師 労働安全コンサルタント 鈴木敬司様

平成26年6月11日(水)  
建設業労働災害防止協会 静岡県支部 平成26年度安全指導者研修会  
会場 静岡県建設業会館 4階会議室



講演①  
「静岡県支部設立の経緯と安全指導者の役割」  
(株)古川組 顧問 社会保険労務士 古場邦人様



講演②  
「変更 建設業労働災害防止規定」について  
建災防本部 主任安全監理士 山崎弘志様



静岡労働局 寄田茂産業安全専門官の話に続き、安全指導者の役割や建設労働災害防止規定の変更内容を各地区安全指導者が熱心に聴いていました。(袋井分会15名参加)

菊川建設(株) (株)金田組  
(株)ヤマグチ 大沼建設(株)

第28回袋井地区建設業安全大会  
優良事業場賞受賞者

佳作 佳作  
正光建設(株) 名倉富昭  
(株)アキヤマ 大嶋秋夫

「するなさせるななれあい作業  
安全確保は各自の責任」

安全標語入選作品

優秀賞 丸明建設(株) 大場五月